


【沖縄地区】

(1)実施日	平成 26 年 10 月 27 日(月)
(2)実施場所	沖縄県北部地域のダム（植樹は羽地ダムにて実施）
(3)参加者	24 名
(4)協力	内閣府沖縄総合事務局開発建設部
(5)活動内容	<p>午前：ダム視察（環境に配慮したダム工法とツーリズムとしてのダム）          午後：センダン植樹、地元団体とダムツーリズムについての意見交換</p> 
沖縄の水事情	<p>平成 6 年以前、沖縄は毎年のように給水制限（断水）が行われ、県内住宅街の屋上に水タンクが立ち並ぶ独特な景観はその名残りである。その水事情を改善する為にダム建設を推進し、今年 3 月 1 日には連続給水満 20 年を達成した。多目的ダムの水源開発は沖縄本島に安定的な給水を実現し、沖縄の経済発展、生活水準の向上に大きく寄与した。北部地域の自然は沖縄の宝であると同時に貴重な水源地でもある。</p>
(6)スケジュール	<p>09:00 沖縄県庁前バス停を貸切バスにて出発          10:00 漢那ダム視察（ダム堤体～下流マングローブ～第 2 貯水池）          12:00～12:50 昼食及び「やんばる学びの森」施設視察          12:50～14:00 安波ダム湖視察（ボートでシゲランファアの滝へ）          15:00～15:40 羽地ダムにて環境保全活動「センダン植樹」          15:40～16:10 ダム資料館 視察後北部会館へ移動          17:00～19:00 北部会館にて地元団体との意見交換会と懇親会          19:00 貸切バスにて那覇へ移動→ 那覇着・解散（20:00）</p>
(7)参加者の感想	<p>①ダム視察や植樹で環境保全を考える機会になり、とても役立った。          ②新たな観光素材としてのダムを見ることができ、環境保全に配慮したダム造りを全国に先駆け取り組んでいる点など、エコツーリズムや修学旅行の環境学習に持ってこいの場所だと感じた。          ③国交省が整備したインフラを旅行社が商品として活用する連携をもっと強化できると思った。          ④環境保全と観光のコラボは沖縄観光の新たな選択肢、磨き上げれば十分な素材となるものが沢山ある。          ⑤安波ダムでの「シゲランファアの滝」が一番印象に残った。整備して湖面クルーズが出来るようになれば充分、誘客できると思う。          ⑥やんばるの自然を大満喫！今後はその「水」を提供している北部地域の活性化を図る為にも旅行社の役割がとても重要だと感じた。</p>
(8)その他情報	<p>植樹の「センダン(梅檀)」は、沖縄では主に北部（やんばる）に自生し、樹高は 15～25mほどで、昔から漢方薬でいられている。近年は癌などの難病との関連において研究され、その効能が期待されている。</p>